

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和4年度 第2回佐渡市図書館協議会
開催日時	令和4年10月6日(木) 13:30～
場所	佐渡市立中央図書館 2階講座室
議題	<p>(1)報告</p> <p>①第1回図書館協議会案件</p> <p>A) さわた図書館の市民の御意見の聴取方法</p> <p>B) 移動図書に係る相川地区有線放送</p> <p>(2)議題</p> <p>①両津図書館開館時間延長実績及びアンケート</p> <p>A) 両津図書館開館時間延長実績</p> <p>B) 佐渡市立図書館開館時間延長に係るアンケート結果</p> <p>C) 佐渡市立図書館の開館時間に関する今後の方針について</p> <p>②佐渡市立図書館における収集、選書、除籍に係る要綱・基準の策定及び除籍図書の活用</p> <p>③その他</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	<p>佐渡市図書館協議会委員</p> <p>会 長 木村 和夫</p> <p>副会長 関根 良子</p> <p>委 員 海老名 忠</p> <p>小松 美知乃</p> <p>杉坂 芳文</p> <p>遠藤 邦子</p> <p>坂口 可奈子</p> <p>渡邊 日出子</p> <p>黒川 健</p> <p>土屋 雅朗(代理出席：本間学)</p> <p>事務局(教育委員会 社会教育課 中央図書館)</p> <p>教育長 新発田 靖</p> <p>課 長 市橋 秀紀</p> <p>館 長 村岡 直</p> <p>係 長 伊藤 優美</p> <p>主 事 本間 春菜</p>
会議資料	別紙のとおり

傍聴人の数	1名
備考	—

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
教育長	<p>1. 開会</p> <p>挨拶</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 報告</p> <p>① 第1回図書館協議会案件</p> <p>A) さわた図書館の市民の御意見の聴取方法</p>
村岡館長	<p>委員の中からワークショップについて、どのようなメンバーでどういったかたちをお考えですかといったお問い合わせがあったところを、今回報告させていただきたいと考えております。</p> <p>今、事務局の方で考えている部分は、ワークショップよりもより多くの市民の方のご意見を伺う中で、さわた図書館の設計等に入らせていただきたいと考えており、12月くらいには計画の骨子や通し図といった、より分かりやすいかたちでの図ができる予定になっておりますので、その時点で市民との意見交換会やパブリックコメント等でより広いご意見をいただき、計画に反映させていきたいと考えております。</p> <p>更に、今回案としていない部分なのですが、さわた図書館が移転先として考えている佐和田行政サービスセンターにつきましては、事務所といったかたちでの建築用途であり、図書館については、事務所用途より3倍近くの荷重が必要になってきます。入札等で業者と契約をして、今、案が出てきているのですが、その案自体が構造計算に基づかないレイアウト的なものしかありません。そういった状態の案で委員の皆様にお示ししてご意見いただいても、なかなか実際に則さないといったこともございますので、構造計算がある程度しっかりできた中でお示しし、ご意見をいただきたいと考えています。</p>
市橋課長	<p>すみません、ちょっと説明が細かすぎたかと思いますが、正直に言うと図面が皆様にまだお示しできる状態ではないという話なので</p>

<p>木村会長</p>	<p>す。一旦は今できてきたのですが、まだ我々の中では建築住宅課の方で精査をしてもらって動いてる状況でありまして、しっかりとした資料ができた段階で皆様にお示ししたいと考えていますので、申し訳ありませんが、もう少し待っていただきたいと思います。</p> <p>多くの方が利用するところですので、万が一事故でも起きると大変ですので、しっかり下地をよく考えて、今後施工まで行きますとなかなか協議会で話し合うわけにいかないということですのでご理解をいただきたいと思っています。</p>
<p>海老名委員</p>	<p>基本設計の仕様書なりをつくる時に、「この庁舎を図書館にするんだよ」という前提で発注しているのではないのでしょうか。そうすれば、構造上の荷重の問題というのは、今更出てくる問題ではないような気がするのですが。</p>
<p>市橋課長</p>	<p>我々もそのような発注の仕方をしているのですが、発注元が今回建築住宅課の方をお願いしてまして、一応レイアウトの部分と荷重の部分が元々発注に入っているのです。ですが今、最終的な荷重のところまでの部分ができておらず、レイアウトだけが先に送られてきているという状況です。建築住宅課の方でまだ実は工期があるものですから、工期内で最大荷重の計算をして最終的なレイアウトを持っていくということになっておりましたのに、先にそのレイアウトを我々が出してしまったというところ、申し訳ございません。そういう状況で、正式に計算が行なわれて図面ができた段階で、皆様とまた意見交換をさせてもらいたいというところでございます。</p>
<p>海老名委員</p>	<p>そのことに関してどうこうという意見ではないのですが、普通はレイアウトを出す段階で、設計業者がある程度荷重計算した上で出すのが当たり前だと思うのですが、大丈夫でしょうか。</p>
<p>市橋課長</p>	<p>建築住宅課との話合い、スケジュール感の中で、レイアウトを一旦決めて、そしてそれに合うのかどうかというところを見ながら、また配置等を移動させていかななくてはならないらしいです。ですから、イメージ的なレイアウトを作って、そして本を何冊置くっていうのを決めてから、そしてまた荷重を考えて、そしてそれに合わせて今度減らさなきゃいけないか、増やさなきゃいけないか等を調整するかたちになってくるということになっております。建築住宅課の方のプロがやっておりますし、業者の方もちゃんと入札した業者でありますので大丈夫だと思います。</p>

海老名委員	<p>普通はざっくり計算をして、「この程度のレイアウトで大丈夫だよ」ということで、オープンにするものだろうなと思っているのですが。</p>
市橋課長	<p>それは建築住宅課の指示がそういうかたちになっていたようです。先日建築住宅課の方から、そういう状況で、これから耐荷重の計算をしますということで連絡をいただきました。すみませんがこの後工期で終わり次第、また説明致します。</p>
杉坂委員	<p>そうすると、実際そのレイアウトのイメージができてきたものに関して、実際に本を置いて、荷重計算をしてみて、またそれで検討してということになると、どうしても工期に入るまでの検討の時間が長くなるのかなと思うのですが、どうなのでしょう。</p>
村岡館長	<p>図書館協議会の委員のご意見や、市民の方のご意見を反映するようなかたちでの工期設定になっておるので、それは大丈夫かと思えます。</p>
杉坂委員	<p>その期間はしっかりとれているということですね。</p>
木村会長	<p>既にある建物を変えるということで、しかも図書館なので本の重が、もう恐ろしい数値になるわけですよ。そういう中での変更となるので、今の心配があるわけですよ。案が変わればまた荷重計算の方法が変わったり、いろいろなことが心配になるかと思いますが、あとは建築住宅課の方が主体になってるようですね。</p>
海老名委員	<p>そうすると、「ここは本をたくさん置くから荷重を重点的にやりますよ」、「この辺は学習スペースで荷重がかからないから、ある程度構造的には弱くてもいいんですよ」、そういうやり方をするのでしょうか。レイアウトは色々変わっていくので、構造上は一体的に考えなくてはいけないのではないのでしょうか。</p>
市橋課長	<p>まず新築であれば、そういうふうに最初から計算していくのですが、今回は既設のリフォームなものですから、今の建築住宅課の考え方だと、耐震工事があったので、抜ける壁と抜けない壁があるもので、どの壁を抜けるか、その辺をまず先に調査しているようです。</p>
海老名委員	<p>そうすると、レイアウトにも制限があるということですか。</p>

市橋課長	<p>そうです。「もうこれは抜けない」というところがあるものですから、そこは今、建築住宅課の方で調査をしています。我々としては、抜けるだけ抜いてほしいと思います。なるべくワンフロアで安全なカタチがいいかと思うのですが、なかなかリフォームの関係があつて無理なところもあるので、そこを含めてまずは動いています。</p>
海老名委員	<p>レイアウトはもう制約があるという前提で動くのですね。</p>
市橋課長	<p>そうなのです。</p>
木村会長	<p>心配な点がたくさんあるかと思うのですが、建築住宅課とそれから社会教育課、それから業者でうまく調整していただいて、本当に安全なものになるようなカタチで、慌てないで進めていただければ一番ありがたいと思います。</p>
	<p>B) 移動図書に係る相川地区有線放送</p>
伊藤係長	<p>かつて高千地区で移動図書館車の運行日に防災無線でのアナウンスがあったのですが、そのアナウンスについて「最近は無いです。どうしたのでしょうか」というようなご質問がありまして、それについて確認しましたところ、平成 30 年に市民の方から「防災無線に様々な放送があつて、大事な放送が分かりにくくなってしまった」というような声を受けまして、「放送内容については厳選するというような方針になった」ということです。このため、現時点では放送の再開というのは難しいと考えております。ただ、そうはいつでも高千の連絡所にいらっしゃる方、利用されたい方については、ご不便なこともあるかと思ひます。現時点では、今年度の日程表を高千連絡所の受付に既に掲示をしていますが、高千の連絡所に依頼しまして、次回行く日について、窓口に大きく掲示していただくようにさせていただきました。</p>
小松委員	<p>今も運行はしているのですね。</p>
伊藤係長	<p>はい、高千方面への移動図書館車自体は、毎月第 2 火曜日に運行させていただいています。</p>
小松委員	<p>その時間帯になかなか外へ出て、ということが無いもので、全く見たことがなくて、それとやはり高齢者が多くて、本を読むという習慣も無い、という人もいるものですから。連絡所の他に停留する</p>

伊藤係長	<p>のはどこでしょうか。</p> <p>今現在は高千中学校、デイサービスセンター、そしてたかち保育園の方にも移動図書館車でお伺いした時に、本の入れ替えを行なっているところです。</p>
小松委員	<p>地域の高齢者で移動が難しい方もいます。例えばバスで行ってバスで帰るなんていうことはまず難しいです。そして私達が「行くよ」と言って乗せるのは簡単なのですが、万が一のことがあった時は大変ですし、なのでお互いに「高齢者を乗せるのはやめよう」ということになりました。親切が仇になると本当に難しい問題があります。</p>
木村会長	<p>そうですね、せっかくハローぶっく号が行くので、行く場所と時間が分かるようなかたちで工夫されていただければと思います。</p>
小松委員	<p>特にこれからもう農作業が無くて、家にこもりっきりではないですか。テレビばかり観ても同じニュースで、明るいニュースならいいんですけど。やはり高齢者が、子供が読むような絵本でも心が和むかというような気がしてはいますが、ちょっと実態は読めていません。今月高齢者の茶の間があるので、ちょっとまた宣伝しておきます。</p>
伊藤係長	<p>そうしましたら、移動図書館のPRもしていただけるというところで、ぜひ、ご協力をお願いしたいです。また会議が終わりましたら、ちょっとお話をさせていただければと思います。</p>
	<p>(2)議題</p> <p>①両津図書館開館時間延長実績及びアンケート</p> <p>A)両津図書館開館時間延長実績</p>
事務局	<p>資料説明</p>
木村会長	<p>参考までに、他の図書館(室)の開館時間というのが私も正確に知らなかったです。それを教えていただけますか。</p>
伊藤係長	<p>中央図書館は平日が9時から18時まで開館しています。そして、土曜日、日曜日、祝日については、9時から17時までの開館が中央図書館の開館となっています。そして、中央図書館以外の図書館(室)は平日も休日も、9時から17時までの開館となっています。</p>

木村会長	それを今回両津図書館に関しては、期間中 17 時から 19 時まで開館したということですね。
伊藤係長	平日の 2 時間を延長したというところです。
関根副会長	17 時以降の延長利用者数のところで、来館者数は増えているのに、貸出人数と冊数が横ばいというのは、ようするに多くの方が本を借りないで、学習等に利用したということですか。
伊藤係長	そうですね、8 月に入ってから学習される方が増えてきたというふうな報告を受けています。
渡邊委員	私は想像どおりの数字だと思いました。「夜、延伸してほしい」という希望があったとしても、佐渡の島民の生活からするとやはり、毎日毎日同じ人達に来て、それが加算されて 140 人になる、というように、同じ方の利用が多いのだと思います。実を言いますと、中央図書館も開館してすぐですが 20 時まで試験延長したことがあります。「20 時までやってほしい」と言うので、夏場だけやってみましたら、そんなに伸びないのですよね。ですから、土曜日、日曜日、祝日と開館していて、その他に夜までの開館が必要かどうか。学習するのであれば、わざわざ図書館(室)に夜来なくてもいいのではないかというふうに考えることもあります。自宅学習がやはり基本ですし、一般社会人の場合は、夜にどうしても利用したいという方もいらっしゃると思いますが、土曜日、日曜日にしっかり図書館(室)で勉強するっていうことができれば、はたして必要な、という気がいたします。行政から考えてみると図書館(室)というのは土曜、日曜日、祝日に開館していて、その他に夜延長っていうことが必要かどうかという思いが経験からあります。
木村会長	小学校と中学校では今、昔のように部活を土曜日、日曜日も二日間やるというようなことはなく、制限があるんですよね。
本間委員代理	そうです。週休日に部活を二日連続でやるということは、大会が近い場合は例外的に無くはないですけど、どちらか一日は休養日にしています。
木村会長	部活を指導する教師にとってもやはり休まなくてはならないということですよ。

本間委員代理	そうですね。
木村会長	ですから、逆に言えばその人達は、週のどこか自分の空いた時間で図書館(室)の利用ができるということですよね。渡邊委員さんの言いたいことは、その辺と関わるんですよ。きっと。
渡邊委員	<p>そうですね。勤務時間が 18 時までで、平日は図書館を利用できないから 19 時まで延長してほしいという人がいるかもしれませんが、図書館は土日と祝日も開館しているのでそこまでサービスしなくてもとえます。都会とやはりちょっと違うと思うんですよ。</p> <p>B)佐渡市立図書館開館時間延長に係るアンケート結果</p>
事務局	資料説明
海老名委員	<p>アンケートお疲れ様でした。率直な感想を述べさせていただきます。確かにアンケート結果の数値からみれば、今程言った考察のとおりかと思えます。開館時間については今までどおりで良いとか、もうちょっと遅くまで開けていただきたいなど。確かにこの数値だけみればそうだと思いますが、サンプル数が 380 しかありません。例えば、先ほどの両津図書館の延伸時間の実数をみても、来館者が 7 月 8 月で 6,600、このアンケートは全市の図書館(室)を対象にしたものであれば、もっと部数は多いはずで、回収率で言うと本当は数%、1%もしかしたらそれ以下になるのかなという気がします。単純に両津の 6,651 でやっても、両津地区だけのアンケートにしてもこの数字でいくと 5.7%しかありません。全体でいくともうちょっと低くなって、それを市民の声だというふうに受け取らず、ちょっと慎重にやるべきかなと、先ほどの渡邊委員の発言もそういう部分かなというふうに理解しています。それが率直な感想です。</p>
市橋課長	<p>この資料だけで我々こうしたいという判断をするということは、私達も資料が結構少ないなというふうに思ってますので、これは一つの意見だということで、この後この延伸について、私も 9 時開館がいいかどうか議論が必要だと思うんです。10 時開館でもいいのではないかと個人的には思いますが、そういうのも含めて今後の開館時間延伸というところについて、皆様から意見をいただいて、我々としてどういう方向でいけばいいかということを考えていますので、すいませんがまた意見の方、お願いいたします。</p>

木村会長	アンケート結果のグラフを見ますと、3番目の「お住まい」の部分について両津地区が突出しています。他の項目について比較してみても、両津に偏った意見が出てしまってるのではないかと危惧したところがあります。
村岡館長	会長がおっしゃっている平成29年につきましては、全体的な佐渡市立図書館のビジョンを策定するにあたって市民の方からご意見いただきたいというかたちで、件数も多くなっております。今回のアンケートについては、あくまでも試行的な部分について、両津図書館の延伸に伴うかたちでのアンケートということもありまして、数も多くないですし、期間も短いというところもございます。
市橋課長	アンケートについては、7、8月に両津図書館へ来た人だけに聞いたアンケートで、全世帯などへというかたちで聞いたものでは決してなりません。前回のアンケートについて少し聞きましたが、今回は個々に配布して行くかたちではないものです。
渡邊委員	前日も図書館(室)に直接行って、「書ける人は書いてください」とお願いをするかたちで行いました。
海老名委員	このアンケート自体は、「全図書館・図書室に来館した方を対象に協力してください」とあったので、そこで会長がおっしゃったように、地区別のバランスが前回とは違うのはどういうことかというところが気になっているところではないでしょうか。
木村会長	なのでやはり、アンケートの方法に問題があったのではないかと思います。
村岡館長	今回、両津図書館の開館時間延長についても、周知不足ということについてご批判いただいた部分もありますので、アンケートについても同様なことになるかと思えます。1-4の資料説明で私ども今後の方針について考えておりますので、そこで説明させていただけたらと思えます。
渡邊委員	実を言いますと、私もこの7月1日から8月31日まで図書館(室)に何度か来ましたが、アンケートをしてることを知りませんでした。ですから、「アンケートをしてください」ということを他の図書館(室)では全然言ってなかったと思うのです。ただ、例えば両津図書館は、ちょうど時間延長をやってますので、その時に「どうですか」と声掛けをして、そこで随分職員のアンケート依頼について違って

伊藤係長	<p>きてるのではないかと思います。</p> <p>諸々の取り組み方で至らない点もたくさんございまして、私達も反省しているところです。そして、「周知も充分でない」など、そういったご批判もいただいているところです。ですので、次の説明にこのまま移ってもよろしいですか。</p>
事務局	<p>C)佐渡市立図書館の開館時間に関する今後の方針について</p> <p>資料説明</p>
海老名委員	<p>確認ですけれど、佐渡市立図書館の開館時間に関する方針をどうしようかと考えていて、両津図書館に特化して考えているわけではないのですよね。そうしますと、この表題に対して 1-4 の資料の書き方ですと、両津図書館に特化してるようなふうに感じてしまいます。市内の全図書館(室)を対象にしているのであれば、それぞれその図書館(室)の利用者ごとの意見をまとめるなど、整理してやらないとメチャクチャになるような気がします。「この部分は両津図書館に特化しているよ」というような感じで、ある程度利用者限定したアンケートにしてしまえば、その利用者に対するニーズがもっと明確に出てくるんじゃないのかと、そのような感想を持ちます。</p>
伊藤係長	<p>各図書館(室)に特化したようなかたちのアンケートの取り方と、その図書館(室)での結果というようなまとめ方にした方がいいのではないかというご意見ですね。ありがとうございます。</p>
海老名委員	<p>その方が、地域も違えば利用者のかたち態も多分違うでしょうし、そうすると「この図書館(室)は夜間ニーズが多いので、延伸しますか」など、そちらの方が明確に説明しやすいのではないかと思います。</p>
遠藤委員	<p>そのアンケートの取り方だと、皆様に地域だったり職場が近かったりといった、メインでご利用になってる図書館(室)があると思います。なので、アンケートを取る時に「一番よく利用する図書館(室)はどこですか」など、そういう部分があるといいと思います。その図書館(室)によってニーズというか、利用人数も違いますし、「ここだったら開けて欲しいけど、ここは 19 時まで開けても実はそんなに利用者が無いよ」という所もあると思います。それが市で一律になってなくても構わないと思うのです。やはりそのニーズがありま</p>

木村会長	<p>すから、それに寄せていくようなデータをしっかり取ってやっていただくと良いです。こういうふうにいるいろいろ試行錯誤していただいているのは非常に良いと思っていて、なので例えばそれも一年中ではなくても良いのではないのでしょうか。明るい7,8月など、そういう時だけ長く開館するというのであれば、夏休み中に子どもたちが学習に使えたりするようになるので、そういうかたちでやっていただけるといいと思います。</p> <p>参考までですけど、平成29年にアンケートを実施していますね。その時の項目に、「主に利用する図書館(室)はどこですか。二つ以内で教えてください」というものがあります。なので、それと今度は他の項目とクロスして集計できます。そういうかたちでやると、いろいろなことが分かってくると思います。</p>
伊藤係長	<p>そうですね。アンケートに項目についてもご意見どうもありがとうございます。項目についてもまたご意見などがあれば、お伺いしたいと思います。</p>
関根副会長	<p>時間とは関係無いのですが、7ページ目の【図書・雑誌】のところに、「地域によって情報格差があるのは良くない」という意見があります。そして8ページ目のところに、「同じ図書は不要なので、個別化を図ってもらいたい」と、全く正反対の意見だと思うのですが、せっかくアンケートで意見が出てるので、この辺を何か調整してもらえるといいのかなと思いました。</p>
関根副会長	<p>「アンケートについて」という項目で「このアンケート用紙は、現在図書館を利用している（できている）人々が手にできるものだと思います。利用が難しい人、来たくても来れない人の意見を吸い上げていただきたいと思います。」という意見があります。これはすごい大切な意見だと思います。あくまでもこのアンケートは、図書館(室)を利用している人が書いたものですよね。それ以外の方は図書館(室)に対してアプローチのきっかけになるような出来事がなかなか無いと思いますが、利用していない人をより引き付けるようなイベントなどができればいいのかと思います。せっかく意見をいただいているので、こういう意見も見過ごさないで繋げていってもらいたいと思います。</p>
海老名委員	<p>結局今後の方針としては、もう少し調査をして検討したいという結論でしょうか。</p>

村岡館長	<p>今回、周知不足やアンケートの不足といった部分があるので、予算の部分があるので、議決後といったかたちになるかと思いますが、来年度、中央図書館とさわた図書館の2館で試行的にまた延伸とアンケートを行う中で、島内の全体的なニーズ等を把握したいと考えています。例えば、今委員がおっしゃっていた、各地区のニーズが異なるという部分もあり、当時の事務局の中では、全館全室で一斉に延伸をして、結果をみるというような調査方法も考えたのですが、やはり費用も掛かるというところもありますので、なかなか現実的に難しい状況でした。今回の部分では、やはりちょっと結論を出すには不足というのが事務局の考え方です。</p>
渡邊委員	<p>アンケートをとらなくても試行期間として夏場の延長をして、それによって、アンケートでは「延長してほしい」という回答が一杯あったとしても、実際使ってる人は少ないのではないかなど、そういうことがきちんと分かってきますので、来年の夏、中央図書館とさわた図書館が延伸をすることは、私はあってもいいのかなと思います。そしてその結果、「毎日ではなくて曜日を決めて、この日は19時まで」や、「20時までやります」ということを、きちんと明記すれば皆様そのように利用してくださると思います。</p>
木村会長	<p>両津図書館である程度傾向が分かっているわけですね。</p>
渡邊委員	<p>「両津図書館では今年是这样だった、そして来年は中央図書館とさわた図書館でやってみる」というのもありではないかと思います。アンケートをとるということは、後の集計などが大変でしょう。それが本当に結果として皆の希望なのかどうかという、少し疑問な部分も出てくるのですよね。ただ、今回このアンケートをとった結果、職員に対して非常にいいという意見がものすごく多いのですよね。利用している人は、とても気持ち良く利用しているという、この意見はすごく大事だなと思います。</p>
木村会長	<p>少し方向が違やかたちですけど、実態を掴むという面では有効な方法ですし、それからそこで得られたことを職員に返すということもまた大事ですよ。</p>
渡邊委員	<p>そうですね。あと、議員が「やれ」と言っても、「実際はこうなんですよ」という数字が出せれば、それがベストだと思います。図書館(室)は地域性など様々な点を考えてやってもいいのかなと思います。</p>

坂口委員	<p>根本的には「誰もが利用されやすい図書館」というものがあるので、本当に気楽に皆が利用しやすいということを一番に、いろいろなことを考えて、この運営とかもあつた方がいいなということを常に思います。行き慣れている人は、いいと思いますが、やはり「ちょっと敷居が高いな」という声も聞くので、そこが全部本当に本に親しんでもらえる、親しみやすいというような人達が増えてくれるように、それを中心にいろんな物事を進めてほしいなど、いつも思います。</p>
黒川委員	<p>アンケートについては会長がおっしゃったように、29年度のアンケートが一番いいのかなと思います。この29年度の場合には、来館者に職員が直接調査票を渡して回収していたので確実ですし、また、各図書館(室)それぞれ別に「貸出について」など、項目に沿って自由記述もありますので、非常に良いアンケートだったなと思います。今回もそれと同じようなかたち式で実施すると良いと思いました。あと、アンケートはあくまでアンケートで、私も、「いいですね」とか「行く」とか言いながら行かないことがよくあるので、実態調査をすると実際にはあまり使われないというような事が分かりますので、実態調査が一番分かるのではないかという感じがします。ただ、その為に職員の方が大変だと思います。本当にこの、先程も出ていましたけれど、自由記述のところでは皆様への感謝の気持ちがたくさん載っていて、私も同じように思いますし、本当に感謝しております。ありがとうございます。</p> <p style="text-align: center;">②佐渡市立図書館における収集、選書、除籍に係る要綱・基準の策定及び除籍図書の利用</p>
事務局	資料説明
遠藤委員	<p>プロジェクトチームのメンバーですが、協議会、図書館職員、事務局等ですけれど、それ以外に、古文書が読める方や、地域の歴史などを調べてたりする郷土史家のような方なども参加していただくと良いと思います。貴重な図書の判断基準が、そういう方々は違いますよね。たまに何処か遠くの公共図書館で「すごく大事な資料と知らず、古い本が、この除籍に引っかけられて捨てられてしまった」というニュースが出るので、そういう地元の古いことに詳しい方などのご意見もあると良いような気がします。</p>
村岡館長	ありがとうございます。

木村会長	あれもこれもアンケートがあるので大変ではないでしょうか。あまり無理をしない方がいいのではないかと思います。
村岡館長	作り続けていきたいと考えております。
関根副会長	とても時間がタイトな感じで、短い間でこれもアンケートをとってそれを集計してというと、事務局も大変でしょう。この予定を見た段階で本当に大丈夫かという思いがあります。
村岡館長	プロジェクトチームを作る中で、そういったスケジュール感も動いていただく中で再調整をしていきたいと思っております。
市橋課長	しかしまだ図書館に必要ないということであれば、またこの後いつか動き出す時に議題として挙げさせてもらいたいと思っております。
村岡館長	個人的な意見ですが、普通の本がまた普通に古紙として捨てられていくというところが、とても悲しいというか、残念なところがありまして、有効に活用したいと、古紙の日によく思うところがござります。なので、早くこういった除籍の基準や、除籍図書の有効活用などを決める中で、必要だったり欲しかったりする方、もしくはお金になるならばお金にしてもいいかと思っておりますが、そういった有効活用がしたいと個人的には思っています。
海老名委員	選定基準を設けるにあたってのアンケートは、どういうものを求めるアンケートですか。
村岡館長	まず譲渡の方法を選択する中で、有償譲渡などの部分について、市民の方にどういったかたちのご意見があるかというところを聞いてみたいと思っております。また、選定図書については、各地区にどういったかたちの図書が必要かという特色資料の他に、「この地域はこういったかたちでのニーズがある」というかたちのものを導き出せたらというふうにして思っております。除籍に関しては多分、経験則ということがとても重要になるかと思っておりますし、遠藤委員がおっしゃるような専門的な知見が無いと、その本の価値が分からないということも当然出てくるかと思っておりますので、そういった部分は専門的な知見に基づいての基準になるのかと思っておりますが、除籍図書の有効活用については、そういった市民の方のご意見は反映ができる要素があると思っております。

海老名委員	<p>まず除籍された図書の有償で渡すか無償で渡すかについては、アンケートをとる必要は無いような気がします。市の方針として打ち出せば、それでいいと思います。それから本の選定に関しては、今でも「こういう本が欲しい」という吸い上げは多分していると思うので、そこをあえてアンケートをとる必要も無いのかなという気がします。あくまでこの要綱を制定するにあたってのアンケートは、求めるものが「有償譲渡にしますか。どっちがいいですか」を聞くという意味合いでのアンケートであれば、今聞いた範囲だと必要はないと思います。</p>
村岡館長	<p>もちろんそれだけではないのですが、そういった部分を含めて市民の意見を伺う中で、反映していきたいというところです。私は個別に有償譲渡に対しての考えがあるので、そこを例に出ささせていただきましたが、アンケートの内容についてはまたプロジェクトチームのところでご検討いただくというふうにして考えております。</p>
海老名委員	<p>その内容が見えていないので、今までの話だけで質問させていただきましたが、別にそういう意図があるのであれば良いです。</p>
杉坂委員	<p>アンケートっていうよりは、例えばその除籍基準の制定について書いて、そのパブリックコメントをもらうとかたちの方が逆にやりやすいのではないかと聞いてて思いました。アンケートだと「この考えについてどう思いますか」などと言われても、市民だと「分からない」と答えるか、あるいは個人的な考え方となると、様々な意見が当然出てくるでしょうし、そうするとかえってまとめにくいのではないのでしょうか。長岡市と新潟市の基準を元にして考えて作成した方が良いのではないのでしょうか。</p>
渡邊委員	<p>私も海老名委員と同意見です。これは、専門の人達が決めて、「こうしたいと思いますが、どうですか」でいいと思います。</p>
村岡館長	<p>今回新潟市、長岡市の選定基準を見たのですが、行政的に作り変える、読み替えるということは割に、作業としてはそれほど難しいものではないのですが、その各地区の図書館(室)の特色を出すなど、そういった広く市民の方のご意見を伺う中で、この選定基準や、除籍も含めて反映させていきたいと考えた時に、やはりテクニカルな部分だけではなく、市民の声を聞いてこの基準要綱は策定した方が良いのではないかと考え、今回の策定案を、プロジェクトチーム、図書館協議会、図書館(室)職員のヒアリング、市民へのアンケートといったかたちでの手法を作らせていただいたところでございま</p>

黒川委員	<p>す。</p> <p>すいません、今の、「声を聞く」というのは、これとはまた別のことを聞くということですか。この除籍などについては、長岡市や新潟市のものを参考に作成して、パブリックコメントなどを実施するということが良いのではないのでしょうか。いろんな声を聞きたいという思いがおありでそれは大事だと思いますが、それはまた違うアンケートでもとれるのではないかという気がします。</p>
市橋課長	<p>過去の色々な図書館関係での活動の中で、やはり図書館(室)に関わる方々には一生懸命な方々が多いものですから、ある程度我々が向く前に、そういう人達へ市民のアンケートで声を聞いて、作って、そして作った後でもパブリックコメントを実施してと、特に図書館の場合は、慎重な動きをしていった方がよろしいかなというふうに思ったものですから、今回こういうかたちにさせてもらいました。我々も正直、行政で一般的なやり方で、こちらで作成して通すということも可能かと思いますが、やはりその後、パブリックコメントで「やはりこうじゃなかった」などということが出てくると、その方法には疑問が残るので、一旦事前にアンケートで意見を聞き、他市の状況も鑑みながら方向性を出して作成していく方がいいのではないかとこのところ、こういうふうに考えたのだと思います。</p>
木村会長	<p>実は 29 年度にアンケートを実施する際、アンケートの項目を作ること自体にも 1 か月以上掛かっていました。それで 1000 人単位の集計にもとても時間が掛かりました。そうすると、アンケートって簡単にはできないです。</p>
市橋課長	<p>はい、分かりました。</p>
遠藤委員	<p>一市民として考えた時に、除籍などについては正直そんなに聞いていただかなくても良いと思っています。多分図書館(室)の人たちと先生方が基準決めてらっしゃるのでしょうから、例えば「何十年利用がもう全く無い」、「実用書などでも明らかに古くなってもう需要が無い」などの部分で切られて無くなっていくのだろうという理解です。なので、すごくアンケートをとってくださろうという気持ちはありがたいのですが、この開館時間のアンケートでももう正反対の意見が出てくるのですから、全部の意見は聞けませんよね。なので、もうある程度「こうしますよ」というものを出していただいても良いと思います。後は無償譲渡にするか有償譲渡にするか、そういうところはそんなに聞かなくても、軽くやっていくかたちでも</p>

黒川委員	<p>いいのかなと思います。それから、そんなに丁寧に何でもアンケートをとらなくても、そんなに大きな反発もないと思いますし、やりやすいように進めていただいていいのかなと思います。</p> <p>はい。私も一市民としてそう思います。</p>
木村会長	<p>中学校に昔、評議員という方がおいでになりましたよね。それから学校にはランドデザインがありまして、そういうランドデザインを作成するときにいちいちアンケートはとりませんよね。あくまでも学校で実態、そしてそれを昔ですと評議員という方に見ていただいて、意見をもらい微調整しながら作成するというかたちで昔はやっていましたが、今はどうでしょうか。</p>
本間委員代理	<p>学校運営協議会というものを、学校ごとに設けたり、中学校区の単位で設けたりしていて、そこで各学校の年間の経営方針などを審議したり、意見をいただいたりしますが、今の議題に関しては、除籍について聞かれたり、選定基準についてというアンケートを聞かれても、開館時間のアンケートに比べると、市民の関心はそんなに高くないのではないかという気がします。なので、例えば図書館(室)に置いていて呼びかけをしたとしても、あんまり答えてくださる方はいないのではないのでしょうか。よほど関心のある方でないと、開館時間のアンケートに比べると、それこそサンプル数がそんなに集まらないのと思いますので、先ほどから意見が出ているように、もうある程度お任せして、それについてまた意見いただくというかたちが良いのではないのでしょうか。</p>
海老名委員	<p>先程の意見に補足ですが、廃棄する際に、例えば古文書などの貴重な資料を廃棄してしまうと大変な問題になりますので、機械的に廃棄できる書類、本、書籍と、ワンクッションにおいて、歴史書などの貴重な資料については、別に審議していただくセクション、機会を設けて審議した上で廃棄するというかたちにさせていただければ、私はアンケート調査は必要ないのではないのでしょうか。</p>
木村会長	<p>専門家にそういう大事なものについては相談されるようなコネクトを事前にとっておくの良いと思います、特に佐渡の場合は歴史に関係するようなものが、大事な指定を受けてることもありますし、そのようなものを勝手に処分できないわけですから、そういうところは専門家を決めておいて、そういう人からアドバイスをいただくというかたちが良いのではないのでしょうか。</p>

村岡館長	委員の皆様のご意見を総合すると、アンケートはそんなに必要ないのではないかといったご意見になるかと思います。ただ、事務局が勝手に決めるよりは、やはりプロジェクトチームに専門家の方を加えて素案を作った方が、より現実的なものになるかと思ひますし、また、貴重な資料の除籍にあたっては一旦置いておいて、専門家の意見を踏まえての除籍がいいのではないかという部分も含めて、プロジェクトチームの中でご議論いただいた後に、図書館協議会にはからせていただいた方が、より良いものになろうかと思ひますが、いかがでしょうか。
海老名委員	その流れの方がスムーズにいくような気がします。
市橋課長	そうさせてもらってもよろしいです、という方向で進めてよろしいですか。今、館長が言った方法で進めてもよろしいですか。
木村会長	はい。様子を見ましたら、皆様そのような意見が多いようです。
関根副会長	3. 閉会 挨拶